

# 2004年度 事業報告書

第8号議案 (2004年4月1日～2005年3月31日)

2004年度の事業を次のとおり実施した。

## 1. 普及振興事業について

### (1) 地域組織の活動支援

#### ア) 地域組織が開催する競技会への支援

- ・足立区トライアスロン連合
- ・墨田区トライアスロン連合
- ・杉並区トライアスロン連合
- ・目黒区トライアスロン連合
- ・国立市トライアスロン連合
- ・町田市トライアスロン連合
- ・八王子トライアスロン連合
- ・世田谷区トライアスロン連合
- ・小金井市トライアスロン連合
- ・三鷹市トライアスロン連合
- ・日野市トライアスロン連合
- ・中野区トライアスロン連合
- ・板橋区トライアスロン連合
- ・練馬区トライアスロン連合

以上14団体へ大会資材等の貸し出しを行った。

#### イ) 区市体育協会加盟金の助成

今年度は新たな区市体協加盟団体はなかった。

#### ウ) 地域組織設立の支援

今年度の新たな地域組織設立の活動はなかった。

### (2) 会員数の拡充

主催大会の内容の工夫を行った。

### (3) 東京都体育協会への加盟推進

具体的な施策が出来なかった。

### (4) 選手への強化支援

ア) 日本トライアスロン選手権大会へ男子6名・女子3名を派遣した。

イ) ジュニア選手への強化のための講習会は開催出来なかった。

### (5) 大会資機材の整備補充

テントを10張り購入し、無線機のオーバーホールを行った。

### (6) 障害者への大会参加啓蒙活動の推進

具体的な施策が出来なかった。

## 2. 講習会・研究会等の開催

### (1) 講習会の開催

ア) 選手を対象とした講習会は実施出来なかった。

イ) 審判員を対象とした講習会を6月11・24日、10月10日、2月13日に実施した。

ウ) 選手強化を対象とした講習会は実施出来なかった。

### (2) 研究会等の開催

ア) 大会運営マニュアルの作成を目的とした研究会は実施出来なかった。

## 3. 競技会の開催

### (1) 主催大会

ア) 第15回東京都トライアスロン選手権伊豆大島大会

(日本トライアスロン選手権東京ブロック代表選考指定大会)

開催日 2004年6月12日 選手21名

イ) 2004年渡良瀬トライアスロン大会

開催日 2004年7月25日 選手334名

(2) 主管大会 (本連合が競技運営を委託されて運営する大会)

ア) 2004年ホルキッズ<sup>®</sup>トライアスロン大会 in 国営昭和記念公園

(JOCジュニアオリンピックカップ) 9月20日

イ) 2004年全国高校生トライアスロン大会 9月18日

ウ) 2004エネルゲンカップトライアスロン大会 in 国営昭和記念公園 9月18日

エ) 第10回日本トライアスロン選手権東京港大会 10月24日

(3) 協力大会 (本連合が競技運営の協力依頼を受けて人員等の派遣を行う大会)

ア) チームケズカップ 4月18日, 05年1月9日

イ) カーフマンジャパン 4月18日, 05年2月6日

ウ) 第15回国営昭和記念公園トライアスロン大会 7月3日

エ) 第17回レディーストライアスロン選手権 in 国営昭和記念公園大会 7月4日

(4) 後援大会

地域組織が開催する大会の支援を行った。

#### 4. 審判員及び指導者の育成と資格試験

(1) 審判員講習会の開催

(社)日本トライアスロン連合公認審判員試験の受験者(第2種・第3種)及び更新予定者に対し05年2月13日に講習会を実施した。

(2) 審判員資格試験の実施と推薦

第2種・第3種公認審判員試験を05年2月27日に実施した。

(3) 指導者の養成 具体的な施策は出来なかった。

(4) 審判員の派遣

他団体が主催する競技会に審判員を派遣した。

#### 5. 関係団体との調整

(1) (社)日本トライアスロン連合

ア) 各委員会へ委員の派遣

- ・ 広報委員会・技術委員会・女子委員会・普及委員会・環境委員会
- ・ メディカル委員会・指導者養成委員会・強化委員会

イ) 「ちびっこジュニアトライアスロン教室」へ指導員を派遣した。

ウ) 認定記録会への協力は出来なかった。

(2) (社)日本トライアスロン連合東京ブロック協議会

2004年5月8日、12月5日に開催した。

(3) 他道府県トライアスロン団体との交流

関東ブロック協議会加盟団体を中心に全国の団体と情報交換を行った。

#### 6. 機関紙の発行

機関紙の発行は出来なかった。

#### 7. (社)東京都トライアスロン連合ホームページの開設

ホームページを開設し大会広報・情報公開等を積極的に行いトライアスロンの普及に役立てた。